

ブーマーとスーナーズ:1889年のオクラホマランドラッシュ

ジェニー・アッシュクラフト 2020/09/11

1889年、50万人もの入植者が、米国政府による入植のために開かれた約22万エーカーの一部に対する主張を賭けることを望んでオクラホマに流入しました。多くは連邦政府に入植のために土地を開くようにキャンペーンを行い、ブーマーとして知られていました。以前はネイティブアメリカンが占めていた土地は、連邦政府が多くのネイティブアメリカンの部族を強制的に移住させた後、未割り当ての土地と見なされました。1889年4月22日、正午にラッパが鳴り響き、希望に満ちた入植者が領土の境界線を越えて急増しました。入植者の数は利用可能な土地を上回り、彼らはすぐにオープン日の4月22日の前にオクラホマに忍び込んだ人がいることに気づきました。これは彼らに法を遵守する入植者の列に割り込み、最も望ましい土地を得ようと、最初に並んでいました。これらの初期のホームステッドシーカーはスーナーズとして知られていました。

1887年、ドーズ法は、ネイティブアメリカンから部族の土地をゆっくりと剥奪し、オクラホマランドラッシュへの道を開いた多くの連邦法でした。それは政府が部族の土地を分割し、の40、80、160、および<>エーカーの区画で個々のネイティブアメリカンに割り当てることを承認しました。土地を受け入れたネイティブアメリカンだけが米国市民になるこ

とができ、残りの土地は公に売却されるようになりました。

「より早い条項」としても知られる 1889 年のインディアン歳出法は、これらの未割り当ての土地を入植者に開放しましたが、事前にインディアン準州に入った人は誰でも土地を拒否されることを指定しました。しかし、事前に領土に入る許可を得ていた「合法的なスーナー」のグループがありました。このグループには、公務員、鉄道労働者、および特別な許可を持つその他の人々が含まれていました。場合によっては、合法的なスーナーズが彼らの立場を利用して初期の入植者を追い払い、彼らをラインに送り返しましたが、引き返して同じ財産の主張を賭けるだけでした。

土地の奪取に至るまでの数週間、幌馬車隊は近隣の州を蛇行し、多くは国境の町に向かった。ある新聞は、60 マイルの長さのワゴンの列を報告しました!主張を賭けることを望んでいるのは男性だけではなく、女性は国内で最高の空いている公有地のいくつかに家屋敷を設立することを望んでいた人々の中にいました。

国境の町では、群衆が 22 日の正午を待っていたため、ムードは歓喜に満ちていました。早くそこに着くことを望んで、電車を支持して馬を捨てた人もいました。ある新聞は、コーチがいっぱいになった後、男性が鉄道車両の屋根を詰めたと報じました。入植者は請求を開始する二つの方

法を持っていました。一つ目は土地事務所に請求を提出すること、二つ目は個人的に土地に定住することでした。同じ土地を主張しようとする二つの当事者の間で紛争が発生した場合、物理的に土地にいる人々が優先されました。

時計が 12:00 を打ったとき、狂ったラッシュが始まりました。早く領土に忍び込んだ人々は峡谷や茂みに身を隠し、ラッパが鳴ったとき、財産を主張するために「地面からすぐに立ち上がったように見えた」。数千人がオクラホマ州ガスリーに押し寄せ、人口は朝の 10 人から日暮れまでに 15,000 人に増加しました。オクラホマシティも同様の成長を経験し、その日の終わりまでにホームステッド土地の申請は 11,000 件を超えました。早く領土に入ったスナーズに対して激しい恨みが生じました。これは、訴訟当事者が何百もの請求に抗議する、今後何年にもわたって多くの訴訟につながりました。部族の土地の喪失は、その後の数年間で追加の土地ラッシュがより多くの部族の土地を奪うのを見たネイティブアメリカンをさらに疎外しました。

1890 年、未割り当ての土地はオクラホマ準州になり、1907 年にオクラホマは 46 番目の州になりました。

Boomer Sooner, Boomer Sooner

Boomer Sooner, Boomer Sooner

Boomer Sooner, Boomer Sooner

Boomer Sooner, OK U!

Oklahoma, Oklahoma

Oklahoma, Oklahoma

Oklahoma, Oklahoma

Oklahoma, OK U!

I'm a Sooner born and Sooner bred

and when I die, I'll be Sooner dead

Rah Oklahoma, Rah Oklahoma

Rah Oklahoma, OK U!